

財団法人ソニー音楽芸術振興会

平成 24 年度 事業計画書

(2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日)

I. 方針

当財団の平成 24 年度事業は、過去 27 年間の実績を基に、より積極的な活動を多角的に展開することによって一層、社会的評価を高めるべく努力致す所存です。また、当年度もソニー株式会社、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント等から寄付金を受ける予定です。

II. 事業

公益目的事業1. 音楽、オペラ、舞踊等の普及向上事業

(1) 「Concert for KIDS～0才からのクラシック®～」 「Concert for KIDS～3才からのクラシック®～」の開催

「生まれた赤ちゃんにも生のクラシックを聴かせたい」、「ぜひ生まれた子供と一緒に聴けるコンサートに行きたい」というお客さまの声から1998年に誕生した、未就学児とその家族を対象としたクラシック・コンサートです。

出演者はピアノ、ヴァイオリン、チェロ、フルート、トランペット、トロンボーン、ハーモニカ、マリンバ、弦楽カルテット、オペラ歌手や童謡歌手など多岐に渡り、地域やホールに合わせ、さまざまな内容構成で開催しています。

【日程及び会場】2012年～2013年

4月22日（日）	〔宮城県〕	多賀城市民会館 大ホール
4月30日（月・祝）	〔東京都〕	ホテルニューオータニ
5月12日（土）	〔東京都〕	なかのZERO 大ホール
6月23日（土）	〔神奈川県〕	青葉台 フィリアホール
7月11日（水）	〔東京都〕	旧東京音楽学校奏楽堂
11月	〔北海道〕	北見芸術文化ホール きた・アート21
12月	〔千葉県〕	印西市文化ホール
3月	〔広島県〕	尾道市しまなみ交流館（初）

その他、〔富山県〕黒部市国際文化センター、〔埼玉県〕和光市文化センター、〔東京都〕HAKUJU HALL（日程未定）など 計13公演程度開催予定

(2) 「0才まえのコンサート®ーママのおなかの特等席ー」の開催

妊娠している母親が、コンサートにより得られる感動や喜びは、お腹の赤ちゃんにもよい影響を与え得る、という発想から企画されたユニークなコンサートです。1985年にスタート、現在までに160回以上、全国30カ所以上で開催しています。

出演者は、第9回（2009年度）齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞者のチェリスト、長谷川陽子氏ほか、実力派の演奏家と楽曲で企画、また、メディカル・アドバイザー（前日本医科大学産婦人科教授）の越野立夫氏による、妊娠や出産にまつわる講話のコーナーも好評です。

妊娠をきっかけにクラシック音楽に触れてみようというクラシック初心者の方々もリラックスしてコンサートを楽しめるよう、曲は耳馴染みのある優しい小品を中心に構成され、出演者による出産・子育て経験談や作曲家にまつわるエピソードなど、トークも交えながら進行します。カップルや家族で外出しやすい土・日の午後に開催しており、来場者の大半がお腹の中の赤ちゃんとパパとママなのも大きな特徴です。

【日程及び会場】 2012年～2013年

6月23日（土） [神奈川県] 青葉台 フィリアホール

3月 [東京都] HAKUJU HALL 他全3公演予定

（3）子どもたちに贈るスペシャル・コンサートシリーズ～vol.9

2004年より始まった Sony Music Foundation スペシャル・コンサート・シリーズの9年目となる公演です。これまでにニューヨーク・フィル、ベルギー王立歌劇場（モネ劇場）、パリ・シャトレ座、イ・ムジチ合奏団、ウィーン・トーンキュンストラ管弦楽団、ファジル・サイ、フランス国立リヨン歌劇場管弦楽団、ニコラウス・アーノンクール&ウィーン・コンツェントウス・ムジクス、シモン・ボリバル・ブラス・クインテットなど、世界に名だたる演奏団体・演奏家たちによる公演を開催してきました。そして昨年度は、当財団としては初めて日本の伝統音楽＝太鼓芸能集団で結成30周年を迎えた「鼓童」を Concert for KIDS とともに取り上げ、大好評を博しました。今年度も、鋭意企画中です。

【日程及び会場】

未定

（4）「MIKIMOTO 日本赤十字社 献血チャリティー・コンサート」の開催

毎年2回開催している本コンサート・シリーズは、1990年よりスタートし、20年を超えて継続開催しております。コンサートによって得た収益金は日本赤十字社へ寄付され、献血のための血液を運搬する血液運搬車の購入・整備資金へと充てられます。いつでも、どこでも、誰にでも必要なだけの血液が滞り無く届けられるよう、日々の運搬車の整備には細心の注意が払われていますが、現時点では十分な数の運搬車が確保出来ているとはいえない状況です。本コンサートでは、寄付活動を通じて、一般の方が、より献血に対する意識を高めるための広報活動

の一端も担っているものです。当年度は東京と大阪にて開催を予定しています。

【第 46 回】東京公演

ニューイヤー・コンサート

2013年1月12日(土) 午後2時開演

会場：サントリーホール

演奏：東京都交響楽団（ソリスト・指揮者未定）

主催：Sony Music Foundation

共催：東京都交響楽団

後援（予定）：厚生労働省/日本赤十字社

協賛：ミキモトグループ【株式会社ミキモト/株式会社御木本真珠島/
御木本製薬株式会社】

【第 47 回】大阪公演

2013年1月24日(木) 午後7時開演

会場：いずみホール

出演：樫本大進（ヴァイオリン）、コンスタンチン・リフシツ（ピアノ）

主催：Sony Music Foundation/いずみホール

後援（予定）：厚生労働省/日本赤十字社

協賛：ミキモトグループ【株式会社ミキモト/株式会社御木本真珠島/
御木本製薬株式会社】

（5）“Great Artist Series” の開催

当シリーズは世界的に実力第一級のアーティストによる、商業ベースに左右されることのない、貴重な公演を提供しようとするシリーズです。当年度は「国際オーボエコンクール・軽井沢」の第10回という記念すべき年度にあたり、コンクール直前の9月末に記念ガラ・コンサートを名古屋と東京で開催します。ここには過去の上位入賞者を国内外から招聘し、オーケストラと協奏曲を共演するほか、審査委員によるオーボエ・レパートリーの究極の室内楽作品を演奏する予定です。同時にホール・ロビーでは各楽器メーカーの協賛による楽器の展示・試奏ブースの出店と、プレイイベントも計画して「オーボエの祭典」に相応しい一大イベントにする予定です。コンクール最終日には第10回のコンクール上位入賞者も加えたコンサートも開催します。

【日程及び会場】

第10回 国際オーボエコンクール 記念ガラ・コンサート

2012年9月27日（木）名古屋 三井住友海上しらかわホール

2012年9月28日（金）東京文化会館 小ホール

第10回 国際オーボエコンクール・軽井沢 上位入賞者&審査委員コンサート

2012年10月8日（月・祝）軽井沢大賀ホール

（6）東日本大震災復興支援チャリティ・コンサート

2011年度から東日本大震災復興支援プロジェクトの柱として開始した「第九チャリティ・コンサート～届け！子どもたちの想い～」は、チケットを購入することによって子どもたちもチャリティに参加できるコンサートで、チケット収入の一部と公演当日の募金を被災した子どもたちの支援に役立てることを目的とし、中期的に継続します。当年度も2011年度と同じ東京オペラシティ コンサートホールを会場とし、第5回（2005年度）齋藤秀雄メモリアル基金賞の受賞者である大植英次（指揮）東京フィルハーモニー交響楽団等による演奏で計画中です。

【日程及び会場】

2012年12月24日（月・祝）東京オペラシティ コンサートホール

（7）Dream Seats プロジェクト

Dream Seats は、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団等の定期公演や名曲コンサートを、小学生から高校生までの青少年とその保護者へ安価に販売しています。子ども向けに作られた公演ではなく、大人と一緒に通常の演奏会を楽しんでもらうために提供している企画です。オーケストラ公演に加えて、室内楽やオペラ公演などもその都度、条件に合った公演を案内しています。また、演奏会に出かける日までのモチベーションを高め、興味を持続させるため「子ども音楽新聞」を発行し、音楽や演奏家、作曲家についての豆知識を案内しています。

（8）セミナーの開催

世界的にも著名な音楽家・教育者を招いて、セミナーを開催します。

若手育成のための音楽教育プログラムであるとともに、日本の教育者たちにも学

べる機会を与えることを目的とします。

【日程及び会場】

2012年9月15日（土）東京文化会館 小ホール

世界的クラリネットのソリスト リチャード・ストルツマン 公開マスタークラス
東京文化発信プロジェクト Music Weeks in TOKYO 2012 実行委員会との共催

公益目的事業2. 国際的コンクール等の開催事業、芸術家の顕彰事業及び芸術家の研鑽に対する助成事業

（1）「第10回 国際オーボエコンクール・軽井沢」の開催

1985年から3年毎に開催してきた「国際オーボエコンクール」は、2012年に記念すべき第10回を迎え、9月～10月に軽井沢大賀ホールで開催します。2011年に国際音楽コンクール世界連盟（本部：スイス・ジュネーヴ）にも加盟しました。

【日程】

申込期間： 2012年2月1日（水）～4月2日（月）

録音音源による予備審査（非公開）： 2012年4月20日（金）・21日（土）・
22日（日）

出場者登録： 2012年9月27日（木）

第1次予選： 2012年9月30日（日）・10月1日（月）

◇第1次予選通過者発表：10月1日（月）

第2次予選： 2012年10月3日（水）・4日（木）・5日（金）

◇第2次予選通過者発表：10月5日（金）

本選及び表彰式： 2012年10月7日（日）

上位入賞者&審査委員コンサート： 2012年10月8日（月・祝）

【会場】

長野県 軽井沢大賀ホール

（9月30日第1次予選～10月8日上位入賞者&審査委員コンサートまで）

(2) 第11回 齋藤秀雄メモリアル基金賞

2002年度（平成14年度）に創設された「齋藤秀雄メモリアル基金賞」はチェリスト・指揮者・教育者として高名な故・齋藤秀雄（1902-1974）氏に因むものです。

2000年3月17日に齋藤秀雄氏未亡人・齋藤秀子氏が90歳で逝去され、氏の遺言公正証書第参条に「財団法人ソニー音楽芸術振興会は、遺贈された財産で振興会の中に『齋藤秀雄メモリアル基金』を設け、この基金により若手チェリスト、指揮者の発掘、育成を目的とした顕彰制度を実施して下さい。」と記載がありました。

これは、その十数年前、同家の資産運用の相談を受けた当財団前理事長・故大賀典雄が同家の資産を買取った経緯があり、そのことに因ると考えられます。齋藤秀子氏の遺言執行者である中央三井信託銀行から当財団に、306,483,968円の遺贈金が寄せられました。

当財団理事会、評議員会で審議の上、齋藤秀子氏の生前の希望により、故大賀前理事長が小澤征爾氏（指揮者）、堤剛氏（チェリスト）とも協議した結果、この遺贈金は「齋藤秀雄メモリアル基金」として運用することになりました。この基金の利息収入により2002年度（平成14年度）から毎年度「齋藤秀雄メモリアル基金賞」を授与することが決定しました。2011年度に一部規則改定し、広く業界から候補者に関するご意見を伺い、新たに任期制選考委員3名に加わっていただき、選考を行いました。4月23日に選考委員長である大賀典雄前理事長が永眠したため選考委員長が不在となりましたが後任は置かず、選考委員全員で選考の上、受賞者を選定し、理事会において決定することとなりました。

当賞の内容は以下の通りです。

1. 名称

「齋藤秀雄メモリアル基金賞」

2. 選考対象

- ・ 音楽芸術文化の発展に貢献し、将来一層の活躍が期待される、若手チェリスト、指揮者。
- ・ チェリストと指揮者を各々1年に1人顕彰することを原則とする。但し、適切な該当者がいない場合は顕彰しない。

3. 選考方法

音楽関係者からの意見等を参考に、選考委員会で、選考委員が候補者を選出し、

全員で選考の上、受賞者を選定し、理事会において決定する。
選考委員会は、顕彰年の上半期に開催することを原則とする。

4. 選考委員の選定

(永久選考委員)

永久選考委員：小澤 征爾 氏（指揮者）
堤 剛 氏（チェリスト）

(任期制選考委員)

上記永久選考委員以外に任期制の選考委員を3名置く。任期制選考委員は理事会に於いて選任し、任期は3年とする。任期制選考委員に欠員が生じた場合には、理事会に於いて後任を定める。

5. 賞

- ・ 楯
- ・ 賞金 当該年毎に1人500万円（総額1,000万円）

6. 受賞者発表時期、方法

顕彰時期を考慮して、当該年毎に適切な発表時期を定める。受賞者はマスコミに公表し、当財団ホームページでも公表する。

7. 顕彰時期

当該年毎に適切な時期を定める。

8. 主 催：財団法人ソニー音楽芸術振興会（Sony Music Foundation）

特別協力（予定）：公益財団法人サイトウ・キネン財団

サイトウ・キネン・フェスティバル松本実行委員会

(3) 「齋藤秀雄メモリアル基金賞」受賞者に対する支援

2002年より創設された「齋藤秀雄メモリアル基金賞」では毎年、1名ずつの若手チェリストと指揮者を顕彰しています。この賞の更なる意義を深めるために、この賞を受賞された演奏家達に、演奏の場の機会を与えることを目的とした事業です。

(4) 「国際オーボエコンクール」奨励賞受賞者及び日本人入賞者に対する支援

1985 年より 3 年毎に開催される「国際オーボエコンクール」はこれまで国内外の多くの若手オーボエ奏者にコンクールという形で場を提供してきました。本選に出場した者の中で日本国籍を持つ出場者に与えられる「奨励賞」、その受賞者と本選出場を果たした日本人演奏家に、演奏の場の機会を与えることを目的とした事業です。

(以上)